

2013年、第4回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第3位受賞 同年、慶大在学中に第82回日本音楽コンクール第1位



©Shigeto Imura

大江 馨 (ピアノ) Kaoru Oe, Violin

1994年生まれ仙台市出身。5歳よりヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大学ソリストディプロマコース、慶應義塾大学法学部を経て、現在ドイツのクロンベルクアカデミーにてクリスチャン・テツラフ氏に師事し研鑽を積む。その傍ら日本およびヨーロッパにおいてソロや室内楽の演奏活動を精力的に展開している。

これまでに渋谷由美子、堀正文、漆原啓子、堀米ゆず子の各氏に師事。室内楽を山崎伸子氏、磯村和英氏に師事。

2013年第82回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞（聴衆賞）、黒柳賞、レウカディア賞、鷲見賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。ほか受賞歴は、第4回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第3位、第63回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、第6回横浜国際音楽コンクール第1位、第14回日本演奏家コンクール第1位併せて文部科学大臣賞。ザルトブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位。平成26年度横浜文化賞芸術・文化奨励賞を受賞。2014、2015年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。

これまでに山下一史、円光寺雅彦、尾高忠明、山田和樹、川瀬賢太郎、鈴木織衛各氏等の指揮でNHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティーフィルハーモニック管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、横浜シンフォニエッタ、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団等と共演。

とにかく気さくな山中さん！その人間的な温かさは彼の作る音楽、演奏する音楽にもにじみ出ているのを感じます。山中さんの書いた作品をいくつか演奏させて頂いたのですが、どれも演奏者もまた聴衆も自然に作品の世界へと入っていて、純粋に音楽の楽しさを味わえる、そんな魅力があります。また共演していると、共演者に対しても聴き手に対しても常に温かく語りかけてくれて、音楽を通したコミュニケーションの楽しさを教えてくれるピアニスト、という印象です。

彼とのステージでの対話が楽しみです！

大江君の演奏を初めて聞いた時あまりに豊かに響く音そのもの（あの細い体から！）に驚きました。彼が所属するアンサンブルのために書いた幾つかの作品、ヴァイオリンとピアノのために書いた作品などを演奏してもらいましたが、とてつもない表現力と音楽性で見事に曲を描き切ってくれました。現在はクロンベルクで勉強する大江君、僕が初共演した時彼はまだ慶応の学生で、本番前も楽屋で難しい論文を書いていた姿がとても印象に残っています...（笑）

自在に音楽を語る大江君との久しぶりの共演は楽しみでなりません。



山中 惇史 (ピアノ) Atsushi Yamanaka, Piano

1990年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。指揮科、弦楽科ティーチングアシスタントを歴任。在学中より漆原啓子、漆原朝子、清水高師、ピエール・アモイヤル各氏をはじめとする国内外の著名な演奏家との共演、又は委嘱を受けるなど、ピアニスト・作曲家として幅広く活動する。アレンジャーとしてもクラシックからポップスまで様々なアーティストを手掛けている。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、仙台クラシックフェスティバル、NHK「クラシックテレビ館」「リサイタル・ノヴァ」BS-TBS「日本名曲アルバム」などに出演。作曲を糀場富美子、安良岡章夫、鈴木純明、ピアノを森陽子、山泉薫、菊地裕介、白石光隆、安野直子、江口玲各氏に師事。

現在は東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に在学し研鑽を積む。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分




宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)